

## ■10月31日

## カタール航空がワンワールドアライアンスに正式加盟

本日、2013年10月30日から、カタールのフラッグ・キャリアであるカタール航空（QR）がワンワールドアライアンスに正式に加盟し、昨日10月29日にカタールの首都ドーハにて記念式典が開催されました。（いずれもカタール時間）

カタール航空は、イギリスに拠点を置く航空サービスリサーチ会社であるスカイトラックス社より2011年、2012年と2年連続で「エアライン・オブ・ザ・イヤー」第1位を受賞しており、高品質なサービスに定評がある航空会社です。そのカタール航空がワンワールドアライアンスに加わることにより、世界的なネットワークがより拡充し、グローバルアライアンスの競争力がより一層強化されることとなります。

## 【ネットワークの拡充と競争力強化による利便性向上】

アジア、オーストラリア、北アメリカ、南アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、中東地域の70カ国、130都市に就航しているカタール航空の加盟により、カタールの首都であるドーハが、ワンワールドアライアンスの拠点の一つとなります。

ワンワールドアライアンスのネットワークにカタール航空が就航するエチオピア、イラン、ルワンダ、セルビア、タンザニアの5カ国、20都市以上が新たに加わります。これにより、ワンワールドのお客さまは、ドーハを経由して、アジア=南ヨーロッパ間、もしくはアジア=アフリカ間をワンストップでご利用いただくことができます。

ワンワールドアライアンスは、約3,300機の航空機により毎日約14,000便を運航し、年間約4.8億人のお客さまにご利用いただくこととなります。その収入は、約1,400億米ドル規模となります。

（JALプレスリリース 10月30日）

<http://press.jal.co.jp/ja/release/201310/002696.html> (-> <http://press.jal.co.jp/ja/release/201310/002696.html>)

## エミレーツ、2020年までに250機保有、年間搭乗者数7,000万人を見込む

エミレーツ航空(本社：アラブ首長国連邦・ドバイ)は、2020年までに250機以上の保有と年間搭乗者数7,000万人を見込んでいることを発表した。

ドバイ国際空港の利用者数と輸送量は過去10年間で飛躍的に増加し、国際旅客数は2005年の2,480万人から2010年の4,720万人へほぼ倍増した。

ドバイ国際空港は2012年に5,700万人が利用した。これらの需要の高まりに対応すべく、ドバイ国際空港ではインフラの整備を開始している。

エミレーツは世界で最も多くのエアバスA380型機及びボーイング777型機を運航する航空会社で、更にエアバスA380型機を53機、ボーイング777型機を61機発注済みとなっている。2020年までに、ワイドボディ機のみで構成されるエミレーツの保有機材は250機を超えることになる。

（マイナビニュース10月30日）

[http://news.infoseek.co.jp/article/mynavi\\_872460](http://news.infoseek.co.jp/article/mynavi_872460) (-> [http://news.infoseek.co.jp/article/mynavi\\_872460](http://news.infoseek.co.jp/article/mynavi_872460))

## ANA、円安で大幅減益＝通期予想も下方修正

ANAホールディングスが30日発表した2013年9月中間連結決算は、売上高が前年同期比5.9%増の7976億円、営業利益が42.5%減の433億1100万円と増収減益だった。

円安の進行で燃料の円建て価格が上昇したことが響き、大幅な減益となった。

14年3月期通期の営業利益予想も、1100億円から600億円に下方修正した。通期の為替レートを1ドル＝95円と予想していたが、下期は同100円に改めた。

(時事通信10月30日)

<http://news.infoseek.co.jp/article/131030jijiX118> (-> <http://news.infoseek.co.jp/article/131030jijiX118>)

(ロイター10月30日)

[http://news.infoseek.co.jp/article/30reutersJAPAN\\_TJE99T006](http://news.infoseek.co.jp/article/30reutersJAPAN_TJE99T006) (->

[http://news.infoseek.co.jp/article/30reutersJAPAN\\_TJE99T006](http://news.infoseek.co.jp/article/30reutersJAPAN_TJE99T006))

(ANAプレスリリース10月30日)

<http://www.anahd.co.jp/pr/201310/20131030.html> (-> <http://www.anahd.co.jp/pr/201310/20131030.html>)

米ボーイング新型機**737**マックスの燃費が改善、目標値上回る

米航空機大手ボーイングは新型の単通路旅客機「737マックス」の燃費が既存機と比べて14%改善し、当初目標の13%を上回ったと発表した。

同社は記者会見で、コンフィギュレーション（客室仕様・座席配列）の確定と技術的な検討を経て、さらに1%ポイントの燃費改善につながったと説明した。

最初の納入は2017年第3・四半期の予定で、同社は「予定通り進んでいる」と明らかにした。

737マックスはエアバスの「A320neo」シリーズの競合機。両機はベストセラーになっている現在の単通路旅客機のエンジンに改良を加えている。

(ロイター10月30日)

[http://news.infoseek.co.jp/article/30reutersJAPAN\\_TYE99T059](http://news.infoseek.co.jp/article/30reutersJAPAN_TYE99T059) (->

[http://news.infoseek.co.jp/article/30reutersJAPAN\\_TYE99T059](http://news.infoseek.co.jp/article/30reutersJAPAN_TYE99T059))

LCC利用、20代トップ 国交省調査

国土交通省は30日開いた航空分野の有識者部会で、格安航空会社（LCC）の利用客へのアンケート調査結果を公表した。年齢別の搭乗率割合では、男女ともに20代がトップで30代が続いており、価格の安さに着目した若年層の航空需要を喚起している様子を裏付けた。利用目的では男女とも全世代で「観光」が最多だったが、50代以上は「親族への訪問・帰省」も2～3割を占めた。

成田と関西国際の両空港のLCC利用者（国内線）を対象に9月に調査した分を集計した。LCCの就航で飛行機の利用回数が「増えた」との回答は64%。LCCがなかった場合の代替交通の質問では「移動していない」との回答が21%あり、LCCが新規需要を生んでいることを示した。

(日経新聞10月30日)

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC3000W\\_Q3A031C1EE8000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC3000W_Q3A031C1EE8000/) (->

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC3000W\\_Q3A031C1EE8000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC3000W_Q3A031C1EE8000/))

ビジネスジェット受け入れ拡充 国交省、羽田と成田で

国土交通省は羽田と成田の両空港でビジネス用小型機（ビジネスジェット）の受け入れを拡充する。

羽田の国際線ターミナルでは来秋に出入国手続きなどの専用窓口を設ける。成田は来夏をメドに駐機場とターミナルの移動時間を半減する新ルートを開通する。2020年の東京五輪決定でビジネスジェットを使う企業幹部や政府要人の訪日需要が高まるのに対応する。

(日経新聞10月30日)

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC2901C\\_Z21C13A0PP8000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC2901C_Z21C13A0PP8000/) (->

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC2901C\\_Z21C13A0PP8000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC2901C_Z21C13A0PP8000/))

A N A、那覇空港での整備事業を表明

A N Aは10月30日、記者会見を行い、来年1月までに策定するA N Aグループ次期中期経営戦略の方向性について説明した。

この中で、航空関連事業への戦略投資の一環として、那覇空港の航空機整備事業へ本格参入する意思を表明した。アジア各国での航空事業拡大に伴い、整備需要が旺盛になると見込まれており、この取り込みを目指す。このほかはF S C、貨物、L C C、多角化、航空関連一の各事業分野で従前の戦略や施策を進めていくことを説明した。

沖縄県は、「21世紀ビジョン基本計画」で航空機整備基地の設置構想を計画している。那覇空港内の航空自衛隊用地の一部に民間航空機を整備する基地を建設する計画で、防衛省や国土交通省と調整している。

(日刊航空10月31日) <http://www.da-news.co.jp/> (-> <http://www.da-news.co.jp/>)

エアバス、長距離飛行での座席快適性を調査

エアバス社は長距離飛行において、エコノミー・クラスの座席幅が乗客の快適性に及ぼす影響について調査結果を発表した。

長距離旅行の快適性を向上させるためには、座席幅の最小基準を18インチ(45.72センチ)に設定することを航空業界に呼び掛けた。

17インチ(43.18センチ)幅の座席と比較し、最小幅18インチの座席では乗客の睡眠の質が53%改善したことを明らかにした。

(日刊航空10月31日) <http://www.da-news.co.jp/> (-> <http://www.da-news.co.jp/>)

**A320** ファミリー、総受注数1万機に到達

エアバス社は10月29日(現地時間)、ジェットブルー・エアウェイズがA321ceoを15機とA321neoを20機発注したと発表した。

また、同社は発注済みの8機のA320ceoと10機のA320neoを大型のA321ceoとA321neoに変更した。

ジェットブルー・エアウェイズの発注により、エアバス単通路型A320ファミリーの総受注数は1万機に到達した。

A320ファミリーは市場のニーズに応じて性能向上を継続的に行っており、最近では燃費効率の優れた新型エンジンを搭載するA320neoや燃費を最大4%削減するシャークレットなどを提供している。

A320neoは最も短期間で大量の受注を重ねている航空機で60%の市場シェアを獲得している。これまでに約2,400機の受注がある。

(日刊航空10月31日) <http://www.da-news.co.jp/> (-> <http://www.da-news.co.jp/>)

J N T Oまとめ市場別「カナダ」、訪日外客数・9月推計値

日本政府観光局(J N T O)は2013年9月の「カナダ」からの訪日客(推計値)を発表した。

これによると、「カナダ」からの訪日客は、前年同月比14.6%増の1万1,300人となった。

(日刊航空10月31日) <http://www.da-news.co.jp/> (-> <http://www.da-news.co.jp/>)

J N T Oまとめ市場別「英国」、訪日外客数・9月推計値

日本政府観光局（J N T O）は2013年9月の「英国」からの訪日客（推計値）を発表した。

これによると、「英国」からの訪日客は、前年同月比15.0%増の1万5,800人となった。

(日刊航空10月31日) <http://www.da-news.co.jp/> (-> <http://www.da-news.co.jp/>)